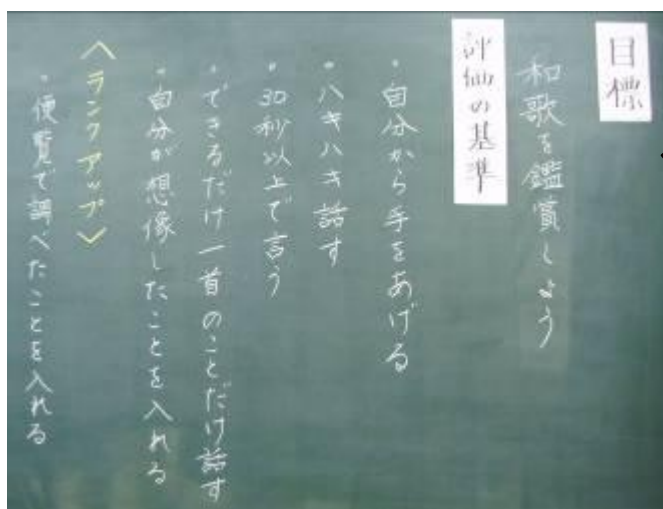


◆工夫例 29 「子どもに評価の基準を示し、何を学習するか把握した上で取り組ませる」



《国語（中学校3年生）》

表現学習（話す、聞く、書く）の際に、評価の基準を短い言葉で黒板に提示することで、子ども自身がどう頑張ればよいか把握できるようにします。そのことにより、子どもの意欲を引き出すことができます。また、評価の基準を示すことで、その都度注意することを減らすことができるという効果もあります。何度も見て確認できるため、子どもにとっては分かりやすい手立てとなります。

